

授業科目	精神保健福祉の原理 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21303J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2			
担当教員	梶原 浩介							
授業概要	<p>本講義では、精神保健福祉士が国家資格化される以前からの精神医学ソーシャルワークの発展と継承を踏まえ、精神保健福祉士の専門性を確立するための基盤となる。精神保健医療福祉に関する法律や制度の変化を学び、そこにおけるソーシャルワーク専門職である精神保健福祉士の存在意義について理解し、精神保健福祉士の視点や考え方、行動について学び、誰もが心の健康を保ち、また不調を改善して自分の意思に基づく主体的な生活を送れるようなソーシャルワーク実践について考察しグループディスカッションを用いて理解を深める。</p> <p>必要に応じてリモートを活用した授業を実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>①「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解する。</p> <p>②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。</p> <p>③精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷を踏まえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。</p> <p>④精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。</p> <p>⑤現在の精神保健福祉士の基本的枠組み(理念・視点・関係性)と倫理綱領に基づく職責について理解する。</p> <p>⑥精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。</p> <p>⑦近年の精神保健福祉士の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	10	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)	20						20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)	30						30	
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)			5				5	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
①「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について説明することが出来る。				①「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解することが出来る。				

<p>②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について説明することが出来る。</p> <p>③精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷を踏まえ、それに対する問題意識をもつ価値観を説明することが出来る。</p> <p>④精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を説明することが出来る。</p>	<p>②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について理解することが出来る。</p> <p>③精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷を踏まえ、それに対する問題意識をもつ価値観を理解することが出来る。</p> <p>④精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を理解することが出来る。</p>			
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション	講義	特になし。メモやノートの用意	0
2	相談援助の定義と概念	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
3	相談援助の理念と価値	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
4	精神保健福祉分野における相談援助活動の対象	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
5	精神保健福祉分野における相談援助活動の目的と意義	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
6	精神保健福祉士 の概念	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
7	精神保健福祉分野にかかわる専門職の業務	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
8	相談援助における権利擁護の概念	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
9	精神保健福祉分野にかかわる専門職の業務	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
10	相談援助における権利擁護の範囲	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
11	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
12	専門職倫理と倫理的ジレンマ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
13	総合的・包括的な援助を支える理論	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
14	総合的・包括的な援助の機能と概要	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
15	・チームアプローチの意義と概要 ・全体のまとめ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	精神保健福祉領域に興味関心を持って、様々な情報にアクセスし視野を広げること。これまでの社会福祉や精神保健福祉関連項目について、復習しておくこと。			
テキスト	最新 精神保健福祉士養成講座5「精神保健福祉の原理」 中央法規 ISBN:978-4-8058-8256-6			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で提示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉の歴史に関する基盤を学ぶ科目です。 ・わからない用語について自分で調べるなどの予習を行ってください。 ・課題(試験やレポート)に関しては、次の授業の際にポイントを整理しフィードバックを行う。 			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験およびレポートの実施方法や内容については授業内で提示します。共に学び積極的に考える姿勢を評価します。			

